



私のいちおし本

「北緯44度 浩太の夏 ぼくらは戦争を知らなかった」

著 有島 希音



選者：チューリップの会 大野 重敏

～北海道の西北、日本海に面する小平町。小学5年の浩太たちは、町のふしぎを調べる中で、終戦直後の町で起きた悲しい事実を知る～

来年は昭和で数えると100年目になります。

戦後生まれの私でも、南の海の出来事は大体わかっているつもりでいたが、今になって北の海で起こった戦争の深い傷跡を知ることになるとは思わなかった。

主人公の浩太に話しかけたおじいさんの「引っ張られるぞ」の言葉そのままに本に引き込まれていきました。

戦争、深い傷跡、まだまだ残っていることを痛感させられる一冊です。

今月の新刊

【銀河アリーナ図書室】

【一般】

下町サイキック

吉本 ばなな 著

「友おじさん、どうして人は色とかお金とかに目がくらむの?」「人はいつだって今の人生をとにかく変えたいと思っているからだよ。」サイキックの能力を持つ下町の中学生キヨカと、近所に住む友おじさんの、ささやかだけれどかけがえのない連帯を描く。



【文化センター図書室】

【一般】

イチからわかる 古文書の読み方・楽しみ方

増田 孝著

これから古文書を読んでみよう、あるいは趣味を持とうと志す人に向けて、古文書・くずし字の読み方から鑑賞のポイントまで、松尾芭蕉や伊達政宗の手紙など9つの実例とともにやさしく解説する。



【児童】

恐竜のあたまの中をのぞいたら

大島 英太郎 作／河部 壮一郎 監修

大昔の恐竜たちは、身のまわりの世界をどんな風にと感じていたのだろうか。恐竜のあたまの骨を手がかりに最先端の技術と研究で恐竜のひみつにせまる。恐竜学のとびらをひらく一冊。



【児童】

しずかなところはどこにある?

レータ・ニエメラ 文／島塚 絵里 絵・訳

大きな音が苦手なきつねは、しずかなところを探しに出かけます。毒きのこの傘の下、閉じた目の奥、すずらんのかおり…。びっくりするような場所に、たくさん見つかってー。フィンランド生まれの、やさしくあたたかな絵本。



その他の新刊

【一般】放送禁止。「あさ8」で知るニュースの真相

百田 尚樹 著／有本 香 著

いつか月夜

寺地 はるな 著

【児童】ようかいむらのまんまるおつきみ

たかい よしかず 作・絵

こまった こまった

ふしみ みさを 文／山村 浩二 絵

その他の新刊

【一般】神社建築のスゴイひみつ図鑑

スタジオワーク 著

紺碧の海

梶 よう子 著

【児童】13歳からの行動経済学

太宰 北斗 監修

かたづけ大作戦

志津 栄子 作